

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

### 8. 会議の経過

令和7年10月29日（水）午後2時00分開議

○委員長（西垣一郎君） ただいまから議会運営委員会公聴会を開会いたします。

初めに岩井委員から本日の公聴会を欠席する旨の届出がありましたので御報告いたします。

なお、代わりに船橋議員が委員外議員として出席いたしますので、よろしくお願いいたします。

本日の公聴会は、我孫子市議会議員定数条例の一部を改正する条例案について協議の参考とするため、公述人の御意見をお聞きするものです。公述人につきましては、9月16日から30日まで募集をしたところ、9名の方から申出があり、議会運営委員会で9名全員に公述をしていただくことを決定しました。なお、公述は申出順とします。公聴会の次第につきましては御手元に配付の要領で行いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

これより順次公述人に発言していただきます。

公述人の皆様方をお願い申し上げます。本日は既に御承知のとおり、議員定数を現在の24人から3人を減らし、21人とする議員定数条例の改正案が議会運営委員会において委員から提案されたことから、公聴会を開催し、市民の皆様から御意見をお聞きし、協議の参考にさせていただくものです。

公述人の発言につきまして念のため申し上げます。発言は、本案件の範囲内でなければなりません。また、公述はあくまでも御自分の意見を述べていただくものですので、当委員会の委員に対して質問を行ったり、あるいは意見を求めることはできません。発言に際しましても、必ず委員長の指名を待って発言されますようお願いいたします。

なお、さきの公述人決定通知でもお知らせいたしましたとおり、発言は議事整理の都合上、5分以内でお願いいたします。

それでは、公述人の勝部裕史さんを御紹介いたします。

勝部裕史さんには御多忙の折、御出席いただきまして御礼申し上げます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして勝部裕史さんは反対という立場で申出をされていらっしゃいます。

これより反対の理由について発言を許します。勝部裕史さん、お願いいたします。

○公述人（勝部裕史君） はじめまして、勝部と申します。

久しぶりに議会運営委員会に呼び出されました。昔はよく議会でいろいろやらかして、そのたびに何度も呼び出された場所です。

それはさておき、定数削減の問題は、本来、可能な限り市民の意思が直接議会に反映される仕組みづくりとセットで議論されなければいけません。この開かれた議会の取組に関しては、まだまだやるべきことがたくさんあり、別の機会に議論をしたいと思います。

## 【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

また、定数削減をあたかも議会改革だと言う方がいらっしゃいます。それであれば、議員定数の上限が撤廃されたのですから、増減両方で議論をされたのでしょうか。極端なことを言えば、我孫子100人市議会として、議会に出席したときだけ費用弁償を与えるだけでもいいんですよ。

本題に戻ります。

本日私が議員定数削減そのことについては、実は異論ありません。ただ、削減する数について合理性はあるのかという点で、反対の立場で意見陳情をしたいと思います。

まず議論の前提としては、そもそも我孫子市において何名が適正かという判断は不可能です。それをほかの自治体と比較しても意味はありません。また、地方自治法においても明確な数の基準は規定されていない。であれば、考えるべきなのは、議員の稼働率、常任委員会との整合性、そして本会議の採決の3点です。

稼働率については検討資料で詳しく分析されておりますので、ここでは割愛します。そこには30年前、私が議員定数について示した算定基準が採用されているようでうれしい限りです。ちなみに32名から30名に削減された際、私は、やはり減らす数字に合理性がなく、理論上では17名でよいと議会で討論をいたしました。

続いて2点目です。常任委員会との整合性。過去の32名、28名、そして現状の24名は全て4の倍数。なぜなら常任委員会が4つあったからです。現在は常任委員会は3つ。しかも、今議会から議長は委員会に所属しないことになったので、3の倍数でもある24という数字も合理性がなくなりました。本来なら3の倍数プラス議長という数が合理的ではないでしょうか。

具体的には、2名減の22名、常任委員会、各7名ずつ。委員長プラス委員が6名という構成になります。場合によってはもっと減らして8名減、16名。常任委員会が各5名、委員長プラス委員が4名という構成でも合理的であり、これが私の30年前の主張です。

賛否同数の場合、委員長が最終判断し、本会議の場で最終的な議論をすることになります。また、原案の21名だと委員会の構成人数に差が出てしまい、これは非常に不公平です。

次に、3点目。本会議の採決の問題です。本会議においては、採決する議員が偶数になるのはよくありません。原案の21名だと本会議の議席数は20名となり、理論上、賛否同数になる可能性もあります。その際、議長判断となりますが、委員会と違って、そこまでの責任を負わせるのは現実的ではありません。議長の選出は、表向きは選挙ですが、現実には輪番制です。議会の代表者にはなれても、最終決定権者とまでは言えないでしょう。議論が二分する重要事項で、議長が何らかの圧力または懐柔にさらされる事態も避ける必要があります。

以上の理由から、方向性としては削減には賛成なのですが、削減する人数を見直すことを強く要望したいと思います。

以上です。

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

勝部裕史さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で勝部裕史さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

それでは、公述人の早川十郎さんを御紹介いたします。

早川十郎さんには御多忙の折、御出席いただきまして御礼申し上げます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして早川十郎さんは反対という立場で申出をされていらっしゃると思います。

これより反対の理由について発言を許します。早川十郎さん、お願いいたします。

○公述人（早川十郎君） 私は、我孫子市湖北台7の3の16の403に住んでおります早川十郎といいます。湖北台に住んで今年で53年目ぐらいになります。当時は日本住宅公団といって2,400世帯で、まさに陸の孤島ですね。そういう中で自治会を結成して、またその後その周辺の町内会でも自治会ができ、そして大げさじゃないですけど、赤ちゃんからお年寄りまで安心・安全に住み続けられる湖北台を目指してきたわけです。

当然、渡辺藤正市長から今日の星野市長さんまで、行政の人たちにも世話になりましたけれど、何ととっても力になるのは地元の市議会議員さんです。この人たちの力がなければ、今日の湖北台は安心・安全には、私はなり得なかったと思うんです。私の団地にもこれまで8人、議員さんが御一緒に生活をしました。そして5人は自治会の役員として、私も御指導や勉強させていただきました。こういう議員さんが一人でも少なくなるということは、住民運動にとってどれだけマイナスになるかということです。ですからこの点をぜひ御理解していただきたい。

ましてや国のほうでは、今や温暖化傾向で、いわゆる首都直下型あるいは南海トラフ、それから我孫子市自らが今、治水課が集中豪雨や、あるいはまた線状降水帯に対してそれぞれの町内会に対応を迫っています。我孫子市にも約200近い自治会はあると思うんですけど、自治会の役員というのは、私の知る限り、一部を除いてほとんど一、二年交代です。ですから市自らが、十数年前から、せめて防災の役員だけは3年や5年やってもらえないか、それで町内会の会長を集めてお願いしてきたわけです。しかも、その役員やっている人たちも後期高齢者や高齢者です。大きな災害が起きたとき、当然それぞれの町内会やまち協、社協、防犯も全部動くでしょう。でも一番頼りになるのは、何ととっても地元の議員さんですよ。要望書によっては、我孫子中の議員さんにも何度もお願ひに行きました。それこそ議会だけではなくて、赤ちゃんからお年寄りまでね、毎日頑張っている議員さんもあります。そういうおかげで、私たちが何不自由なく暮らしていけるわけ

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

です。

しかも、これだけの災害を前に、我孫子市の人口が来年から10万切って、8万や6万になるというのなら少しは分かります。13万の人口でなぜ減らす必要があるのか。これは私の見解になるかも知りませんが、やはり議員さんが自ら地元にいるかいなかで、私たち長い間役員やらせていただいていますけれど、安心・安全度が違うんです。ぜひその辺点のところを分かっていたきたいと思うんです。

ですから今回の議員定数削減には反対という立場で意見を述べさせていただきました。本当に貴重な時間ありがとうございました。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

早川十郎さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で早川十郎さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

それでは、公述人の飯塚皓紀さんを御紹介いたします。

飯塚皓紀さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして飯塚皓紀さんは賛成という立場で申出をされていらっしゃると思います。

これより賛成の理由について発言を許します。飯塚皓紀さん、お願いいたします。

○公述人（飯塚皓紀君） それでは発言させていただきます。

つくし野在住の飯塚皓紀と申します。よろしくお願いいたします。

私はこの議題に対して賛成という立場で今回、お話しさせていただきます。ですが、24人から21人という具体的な数字については、私は懐疑的な面もあるかなと感じております。

やはり人口減少と少子高齢化が進む中で、我孫子市の財政運営は限られた財源の中で効率的に行うことが求められているかなと感じております。議員1人当たりの報酬や経費を合わせると年間およそ1,000万円前後と言われており、大体3人分、今回数が挙がっていると思うんですけれども、年間3,000万円近いコストの削減が可能になります。この規模の財源を市民サービスや子育て支援、デジタル財政など再投資できる点は大きな意義があるかなと私は考えております。

○委員長（西垣一郎君） 公述人に申し上げます。もう少しマイクに近づけて、すみません、お話をお願いいたします。

○公述人（飯塚皓紀君） もちろん、議員の数を減らすことで市民の声が届きにくくなる懸念もあります。しかし、議会や財政がICTを積極的に活用すれば、その課題は十分に補えると考えてお

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ります。例えば、現在もこちら中継されていると思いますが、オンラインでの議会中継やパブリックコメントの仕組み、SNSを活用した市民との対話の場を設けることで、若い世代を含む幅広い層が政策形成に関われるようになります。

私自身もそうですが、同世代の多くが市政は遠い存在と感じているのではないかと私は考えております。議員数が何人であるかという、すごく表面的な問題よりも、どうすれば自分の声が届くかが私の関心の中心です。その意味で、議員定数削減と同時に情報発信や市民参加の仕組みをより開かれた形にしていくこそが、これから人口減少が見込まれる日本で、我孫子市で重要なことになってくるかなと思います。

また、全国的に見ても、議会の議員定数の見直しは一般的な流れであると言えます。千葉県内でも柏市、松戸市、鎌ケ谷市などが定数を減らしており、行政規模に応じた適正化を進めています。人口約13万人の我孫子市で21人という、今回仮ですけれども、数字は他市と比較しても妥当であると言え、議会の質を保ちながら効率化を図れるバランスの取れた数字だと私は感じています。

さらに、定数削減によって議員一人一人の責任がより明確になることも期待されるのではないかなと思います。市民が議員を選ぶ際に、誰が何をしているのかが見えやすくなり、議会への関心や信頼も高まるはずであると言えます。人数が多いことで議論が分散し、責任の所在が曖昧になることよりも、少数精鋭で透明性の高い議会を目指すことが、市民の理解を得る近道だと私は感じています。

一方で、議員定数を減らすことによって、やはり議員の負担が増え過ぎる懸念もあると思います。その点については、事務局機能の強化やデジタル化を進めることによってサポート体制を整えるべきだと考えております。議員数を減らすだけでなく、議会の働き方をもっとアップデートすることが必要であるかと私は考えております。

私はこの定数見直しを議員削減というネガティブな施策ではなく、市政をより効率的で開かれたものにするための改革として捉えています。私はこの一若い世代の我孫子市の住民といたしまして、これからの我孫子市が持続可能な形でよりよい形で発展していくために、この取組は時代に合った前向きな一歩だと私は考えております。

以上のことから私はこの議員定数削減に賛成いたします。

以上です。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

飯塚皓紀さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で飯塚皓紀さんの公述を終わります。

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ありがとうございました。

それでは、公述人の渡部陽祥さんを御紹介いたします。

渡部陽祥さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして渡部陽祥さんは反対という立場で申出をされていらっしゃると思います。

これより反対の理由について発言を許します。渡部陽祥さん、お願いいたします。

○公述人（渡部陽祥君） 総論については、以前、申し込むときに書面で出したとおり、人の意見を聞くという市議会においては、私は定数は50でも100でも、何人いてもいいと思っています。それは早川さんがおっしゃるように、ちゃんと仕事をしてくれる場合ね。

事我孫子市委員会に関しては、もう市長のかいらい政権化していると。もう権力が固定化していると私は思っています。市議会拝聴しても、市長はのけぞって、新人の市議会議員には失礼だの何だのって言うてるし、もう生中継で市議会が放映されているというのを全然自覚していない議員が多過ぎる。我孫子市においては、私は市議会議員は半分でも10人でもいいんじゃないですかというふうに思っています。ちゃんと仕事をしてくれるのであれば、50、100あってもいいと思います。

今回、私見て思うのは恐らく、全部見ていませんけどね、3人削減することによって、飯塚さんからもお話しあったように3,000万円ぐらいお金が減るんですね。3,000万円お金減って何ができるんですか。何にもできないと思いますよ。大したことはできない。

私の理論から言えば、定数は倍にして給料は3分の1、これが適正だと思っているから、3人減らして3,000万円が減ることに対して、何も理由というのかな、ないわけ、根拠がね。例えば国会議員1割削減するって言っているけれども、あれもほとんど根拠がないと思っています。

3,000万円減らすのであれば、じゃ、何ですか、理由は。パフォーマンスですか。それから身を切っているんですよというアピールですかということになるわけ。そうではないというのであれば、3,000万円が大切なんですということであれば、ほかに減らすところがあるはずです。何ですか教育委員会、20年の悲願のラグビー場ですか。誰が欲しいって言っているんですか、ラグビー場。要りませんよ。ラグビー場も要らない、コンサートホールも要らない。満天の湯があるのに温泉を造ろうとしていますね。余計なものをいっぱい造ろうとしていますよ。

私も連合会何年もやりましたけれども、交通の成田線の増便とか、バスの増便、減便等の大切な問題、ずっと木村議員にも佐々木議員にもお世話になりましたけど、一向に改善されないでしょう。しかも、大和団地のバスとか、布佐に行くバスも廃止になっちゃって、社会実験のバスもね、何ですか、あれ、バス1台でやっているからね、もう乗りたくても乗れないようなダイヤになっているわけ。しかも土日はやっていないんでしょう。もう中止するための社会実験になっている。しかも老

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

人バスの削減、タクシーも駄目、阪東バスも駄目、あびバスだけになっちゃった。誰が使うんですか、このバスは。だけど我孫子市細長く十何キロあるまちを便利に過ごしてもらうためには、やんなければいけないことはたくさんあるのに、3,000万円減らして皆さんの権利を守ろうとしているんじゃないですか。

本当は半分だの、倍でもいいんですよ。減らすところはもっといっぱいあるのに、もう市長の言うとおりにするような議会じゃ、私はつまらない議会だなんて思うわけですよ。早川さんが言うように、昔の市議会は一生懸命やってくれてたんでしょう。今はどうですか。780万円、800万円の給料もらう。職業化していますよ。3か月に1回、2週間こっきりの議会やるためにね、4回ですか。780万円、800万円、全部で1,000万円ぐらいもらうんですか。どうですかね、多いと思いますけどね。まず、皆様の歳費を削ったところからスタートして。

あとは何度も言いますが、3,000万円の使い道、3,000万円減らしたい。実はもっと減らしたいんであれど、我孫子市は400億円近い予算があるんですね。だったら、まず90億円も使っている市役所の職員の給料、これ半分にしたらどうですか。私、市役所に用事があって行ったらね、もう半分ぐらい暇にしていますよ、みんなね。暇そうな職員いっぱいいますよ。普通の民間企業じゃ考えられない。まずこの90億円のお金をどうするかとか。

あとは皆さんの2週間、4回ですか。何日実働しているんですか、年間に。いや、ふだんも忙しいんですよと言うんですよ、大体ね。じゃ、どうですか、駅頭やっているんですか。タウンミーティングやっているんですか。私、タウンミーティング呼んだらね、佐々木議員しか来なくて、木村議員とかみんな来なかったよね。もう1時間半のタウンミーティングやるのに、2時間も3時間も、その協議する文書書いているの、私4ページも出したでしょう、木村議員ね。そういうときにね、まず市民と対話するのをおろそかにして、やっぱり800万円、900万円、1,000万円の給料もらっているってこの我孫子市議会ね、私はもう市議会の存在自体に問題があると思っているから、3人の市議会の議員を減らすという議論には反対をしたということでございます。

私の公述は以上となります。よろしくお願いします。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

渡部陽祥さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で渡部陽祥さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

それでは、公述人の塚本小百合さんを御紹介いたします。

塚本小百合さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述を

## 【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

していただくわけですが、本案件に対しまして塚本小百合さんは賛成という立場で申出をされていらっしゃると思います。

これより賛成の理由について発言を許します。塚本小百合さん、お願いいたします。

○公述人（塚本小百合君） 塚本小百合です。よろしくお願いします。

議員さんとの接点というのは、私あまりないんですけど。

○委員長（西垣一郎君） すみません、もう少しマイクに近づけてお話しをお願いします。

○公述人（塚本小百合君） 議員の方との接点というのは私にはないんですが、議員さんの方たちの活動などもあまり私のほうでは見えてはいません。我孫子市に住み始めて30年以上になりますが、本当に住みやすく、そんなに不満とかそんなこともなく、子育ても終えていまだに生活をしております。

我孫子市の財政など、そういうことも私もあまり難しいことも分からず、いろいろ聞いてはいるんですけど、でしたら、今回こういうことが述べられるということで、少しでも意見言えたらなということで参加させていただいたんですが、皆さん本当に難しいというか、本当に真面目に考えていらっしゃるなということで、私も本当に市民のために税金を使ってほしいと、ただ素朴に思うことで、賛成の意見で述べさせていただきました。

以上です。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

塚本小百合さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で塚本小百合さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

それでは、公述人の倉本良一さんを御紹介いたします。

倉本良一さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして倉本良一さんは反対という立場で申出をされていらっしゃると思います。

これより、反対の理由について発言を許します。倉本良一さん、お願いいたします。

○公述人（倉本良一君） 皆さんこんにちは。

私は前回も発言いたしました。前回2018年には、あなたの声を聞かせてください、我孫子市議会に関する市民アンケートが実施され、その結果をまとめた88ページの報告書が翌年の2月に公表されています。しかし今回はそのような市民アンケートは実施されていません。さらに8月1日発行の議会だよりに掲載された文面は、まるで削減が既に決定しているように読めました。



## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

市民の意見を十分に聞かず、短期間で削減を進めようとしていることに強い疑問を感じます。憲法の三大原則の一つである国民主権とは、この国の政治の在り方を最終的に決めるのは、国民一人一人であるという理念です。その意思を政治に反映させるために、私たちは選挙で代表を選び、議会に送り出しています。つまり、議会は市民の声を代弁する場であり、議員はその代表です。定数を減らすことは、市民の代表を減らすことです。定数を減らせば、1人の議員が受け持つ市民の数が増え、地域の小さな声や少数意見が届きにくくなります。民意の多様性が損なわれ、国民主権の理念に反します。

無駄の削減という言葉で定数削減を正当化する声もありますが、仮に議員を3人減らしても予算全体の0.05%程度で、1%の20分の1以下です。財政的な効果はほとんどありません。

人口10万人以上15万人未満の100市の調査によると、議員1人当たりの住民は平均で5,118人です。我孫子市は5,470人で、全国100市の中で70位です。我孫子は既に議員が少ない市です。人口と面積から見た適正人数は24人でも21人でもなく、25名という数字が、ある大学の教授から発表されています。

千葉県内37市を見ると、定数24の市は我孫子を含め3市あります。ほかの2つは木更津市、人口は13万6,700人、ちょっと我孫子より多い。鎌ヶ谷市は11万人で24人です。あと我孫子と人口がほぼ同じ成田市は定数が30です。我孫子市より人口が多いのに定数が少ない都市に浦安市があります。浦安市は人口17万人で21人です。しかし調べてみましたが、浦安市になってから42年間、定数は21のままです。ですから、定数削減の参考にはなりません。

また千葉県37市全体の平均定数は25名です。議員1人当たりの市民は約5,330人。我孫子市は5,456人。先ほどの数字と違うのは、市が発表している年度が違うのでそうになっているんですが、間違いなく平均より少ない議員数です。

近隣市の直近の市議選の投票率を見ると、我孫子は41.57%。高くありませんが、松戸市は34.8%、柏市は31.5%です。相当低いです。両市では、議員1人当たりの住民が1万1,000人に1人です。議員が市民と接する機会が少ないことが大きな要因だと考えます。我孫子市も定数を減らせば、松戸市、柏市のような投票率が低い、そういう道をたどる懸念があると考えます。

再来年は立候補しないから定数が減っても自分には関係ない、そういう立場で削減に賛成しないでください。私はネットで結構議会の傍聴をしています。市議の皆さんの多くは真面目にやっています。市議の皆さん、私たち市民の声をこれからも議会にしっかり届けてください。定数削減で自分の首を絞める必要ありません。あなたたちは私たち市民の代表なのです。

御清聴ありがとうございました。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

## 【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

倉本良一さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で倉本良一さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

それでは、公述人の小泉三男さんを御紹介いたします。

小泉三男さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして小泉三男さんは反対という立場で申出をされていらっしゃると思います。

これより反対の理由について発言を許します。小泉三男さん、お願いいたします。

○公述人（小泉三男君） こんにちは、小泉と申します。よろしくお願いします。

定数の削減案について意見を述べさせていただきます。

まず初めに、削減案についてどんなような理由で削減としたいのかについて議会事務局へこんなふうに質問を行い、丁寧な回答をいただきましたので御礼を申し上げたいと思います。

議会の事務局が回答案を作成し、議会運営委員会の了解を得て回答に至ったということでした。こちらが議会事務局から寄せられた回答になります。ちなみに議会運営委員会というのは、会派としては清風会2名、公明党、あびこ未来、市民フォーラム、我孫子政策倶楽部、日本共産党の各1名で構成されています。

そこで、この回答と議会事務局から頂いたこの議員定数条例等の改正経過、あとは人口の比較ですね、こういった資料を頂きまして、これらを比較して検討してみました。この回答には、今回の提案については令和5年12月の議員改選以降、議会運営委員会で優先事項として話し合いを重ねてきました。この任期は2年間のため、令和7年12月には委員が交代となります。今年の12月ですね。次回の選挙は令和9年11月とまだ先ですが、委員が交代する前に発議案を提出するスケジュールで議論を進めてきましたとなっています。

そこで、令和5年12月からの議事録を確認してみました。これが議事録になります。

内容を見ると、主題が定数削減なのかと思いますと、実は月ごとの議員報酬と期末手当の増収と同じくくりで議論がなされていて、定数と報酬を増やす問題が並行して進められているんです。同時に、委員が交代となる2年間で決めないと選挙が近くになり削減の雰囲気になくなってしまいうなどと、3会派からの発言が掲載されています。ほか、委員からの発言記録はありませんので、3人だけが意見を述べたということです。引き続き議事録を会議開催ごとに追っていきますと、同じような話が続いていきます。

その上で回答は、議員定数の削減は、市民から負託された議会の責任を果たす上で避けては通れ

## 【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ない重要な課題ですとして、少子高齢化、人口減少が進む社会の中で、我孫子市も厳しい財政状況に直面しており、これまでと同様の行政サービスを維持することは困難になりつつあります。このような状況下で、改めて議会の在り方を見直し、よりスリムで効果的な議会体制を構築することは喫緊の課題となっています。議会運営委員会において、定数削減を行うことで持続可能な市政運営に寄与することが必要との結論に達し、削減案を提案することになりましたとなっています。

これらを個別に検討してみますと、次のようになると思います。

まず、少子高齢化は、定数削減には何の関係もなく理由にもなりません。人口減少は、資料にもありますが、この10年間で5,000人弱であって大きな変化とは言えませんので、定数を削減する理由にはなりません。議会資料で見ますと、10万以上15万人での全国・千葉県内との人口比較でも我孫子市が特段に多過ぎるといった事情にはなっていません。厳しい財政状況に直面に至っては、来年、再来年に赤字が発生して財政再建団体となるといったものでないことは明らかで、回答文の誇張表現となっているだけで理由にもなりません。こうした理由について、議運が盛んな議論をしたのかと議事録を見ても記述はほとんど全くありません。

続いて、これまでと同様の行政サービスを維持することは困難に直面してとしていますが、この回答は……

○委員長（西垣一郎君） 公述人に申し上げます。時間になりましたので、そろそろおまとめをお願いいたします。

○公述人（小泉三男君） ごめんなさい。

この回答は定数削減が達成されなければ、今後ともサービスの改善・充実はありませんよと市民に言っていることになりますが、同じく議運がこうした検討した跡は議事録では見られません。同時に、ひどい提案理由だと思います。

住民の高齢化と低所得化が広がっている中、バスの不便や買物弱者が増えている、子どもの不登校が増えていますし、学校の統廃合で少人数学級の実現もない。保育料、給食費の無料化、補聴器補助、障害者施策の充実、特養の定員増がなくて待機を解消してほしい、こうした当たり前の要望さえ議会では前進していません。

さらに、市役所職員の非正規化が進んでいます。非正規は来年の採用さえ保障されない期間限定採用となっており、その多くが女性で占められており、公務の貧困化が助長されているありさまですから、窓口サービスはもちろんのこと、災害時はより心配だとの声が多くあります。

○委員長（西垣一郎君） 公述人に申し上げます。お時間でございますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

小泉三男さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で小泉三男さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

○公述人（小泉三男君） 原稿を読んでいるだけです、このまま原稿を意見として出させてもらって結構でしょうか。

○委員長（西垣一郎君） はい。

○公述人（小泉三男君） では、そういう扱いでよろしくをお願いします。ありがとうございました。

○委員長（西垣一郎君） それでは、公述人の小林博三津さんを御紹介いたします。

小林博三津さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして小林博三津さんは反対という立場で申出をされています。

これより反対の理由について発言を許します。小林博三津さん、お願いいたします。

○公述人（小林博三津君） こんにちは、小林です。現在の議員定数を3名削減して24人から21人とする改正案について意見を述べさせていただきます。

私はこの意見については反対です。

理由の1つ目は、今までの公述人の方もおっしゃっていますけれども、削減の目的とか理由が何にも分からないんですね。なぜやるんですかということです。

令和6年度と今年度で開催された議会運営委員会における削減についての議事録というのは、ちょくちょくで見させていただきましたけれども、そこには理由も目的も何もないと思うんです。その中の話の中で、よく分かんなかったんで、目的は何なんだろうと。21人にしたいというのが。

議会費の予算を削減したいというのであれば、それはどうやって減らすかというのは、まず議員定数がどうのこうのじゃないと思うんですね。ですから、その予算を確保して、どこかで使えるというのは、それは大賛成です。それは、1,000万円でも2,000万円でも、使い道がほかにあるのであればそれはよいことだと思います。だけど、予算を減らすのであれば、幾らにしたいのかという目標も何もないですよ。その目標が3人という話なのかどうか分かりませんけれども。

ですから、議会費を下げたいというのであれば、どれだけ下げたいんですか。どうやって下げるべきなのか。それは議員定数だけじゃないと思うんですね、議会予算を下げるのは。そういうようなことを明確にするべきではないかと思います。

それから2つ目の理由は、何人議員さんが必要かって、先ほどの前の方にも話がありましたけれども、そういう検討というのもよくされていないんじゃないんだろうかというふうに思います。13万人で何人議員が必要だというのは、それはなかなか難しいのかもしれない。議会資料を見ると、何てことはない。隣近所の大体の数字を並べてきて、いや、世間ではこんなもんだよと言って

## 【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

いるから、その辺に合わせたらどうですかみたいな話だと、それは全然皆さんがやっている仕事を何の評価もしていないということですよ。

皆さんがきっちり仕事していれば、21人なのか、5人なのか、10人なのかって、そういう世界で済むと思うんです。もっと少なくてもいいと思いますよ。専門的にきっちりやってくれば。生活費のために議員制をやっているのでは、それは困ります。ですから、そうじゃなくて、議員の仕事というのは何なんだってきちっと定義して、それを評価するようなことを考えていただきたい。それが市民から見えるようにしていただきたいというふうに思います。

あと、今回議員定数削減というのは、前回の市議会選挙のときにも何人かの方は公約として挙げてらっしゃいます。ただし、その公約の中に議員定数削減のところに書いてあるのは、議会改革って書いてあるんですね。議会改革と議員定数削減は違いますよね。結果として議員定数は減るかもしれない、議会を改革することによって。だけど、何を議会改革するかというのは、会議の中の議事録を見ても、改革についての話なんか全然ないですよ。僕はもう議会改革としていろいろやってもらいたいと思ったんですけど、まず議員さんが、全員ちゃんと皆さんで仕事分けをしながら、きっちり本会議で質問するとか、議案に対する質問分けをきっちり全員でやるとか、そういうふうなことを皆さんの仕事として取り組んでいただきたい。

それから、いろいろ見た中で持ち越しとなるような委員会の結果がありますよね。そのときに結論が出ない。それがどうなったかよく分からないんですね。僕らが探しようがない。そういうものを全部情報として公表していただきたいなというふうに思っています。

あと議員は、僕は簡単に言えば、より少ないほうがいいだろうと思っています。ただし、市民の意見を多く集めるには、そこに関わる人たちがたくさんいたほうが市民の意見は集まるだろうと。ですから、そういう意味で……

○委員長（西垣一郎君） 公述人に申し上げます。お時間になりましたので、そろそろお願いいたします。

○公述人（小林博三津君） ですので、専門的な議員さんと、そうではないそれを支えるような議員さんになるのか、スタッフになるのか分かりませんが、そういうような組織をきちっとつくって市民の意見が集められる議会にしていきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

小林博三津さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で小林博三津さんの公述を終わります。

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ありがとうございました。

それでは、公述人の小野里定良さんを御紹介いたします。

小野里定良さんには御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。これから公述をしていただくわけですが、本案件に対しまして小野里定良さんは反対という立場で申出をされていらっしゃるようです。

これより反対の理由について発言を許します。小野里定良さん、お願いいたします。

○公述人（小野里定良君） 湖北台に住んでいます小野里定良といたします。

議員定数の削減は市民の声の削減であり、財政上などの理由で削減することはそもそも民主主義の根幹に関わることであるということの認識不足を感じざるを得ません。今、国会では公明党が連立政権を離脱し、代わって日本維新の会が自民党との連立に入り、その絶対条件として、衆議院議員の定数削減を持ち出し、政治とカネの問題を棚上げするという事態になっています。

連立政権発足後の政府寄りと言われる読売新聞は、次のように書いていました。そもそも国会議員は少なければ少ないほどよいという発想は、政治家は無駄な存在だと決めつけているから出てくるのだろう。維新は、国会議員が国民の代表であるという認識に欠けていると、維新の姿勢を批判していました。今回の我孫子市における市議会議員の定数削減案にも共通するものを感じます。

市民は市政の主人公ですから、その声を代表する議員を削減することは市民の声を切るということです。とりわけ少数意見を切り捨てることになります。民主主義の大問題だと言わざるを得ません。

次に、市長と議員はともに選挙で選ばれる対等の関係にあります。しかし、市長は予算提案権、人事権など強い力を持っています。ともに地方自治を担う関係にありますが、議会の定数削減は行政に対するチェックする力を弱めることになります。現在の議員定数でも力関係では十分とは言えないと考えます。

特に今、2021年5月に制定された地方公共団体情報システム標準化法に基づいて、自治体の情報システムの標準化・共通化などにより、国と自治体との関係は中央集権的に再編されるという専門家の指摘もあります。住民自治、団体自治の点から、地方自治を守り発展させるためにも、現在の議員定数削減はすべきではないと考えます。

3点目は、我孫子市議会では、前回の市議会議員選挙で若い世代の議員、女性議員が誕生しました。これは大変いいことだったと思います。定数削減というのは、若い人たちや女性が進出する機会を奪うことになると思います。

4点目は、私の試算では、前回の議員定数削減、2009年の28人から24人に削減されたときの議員1人当たりの人口は5,624人です。今回の定数21に削減されると、議員1人当たりの人口は6,268人となります。議員1人当たり644人の声が削られることになります。3人

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

で1, 932人の削減になります。したがって、定数削減には反対します。

以上です。

○委員長（西垣一郎君） 以上で公述は終わりました。

小野里定良さんに対する質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西垣一郎君） ないものと認めます。

以上で小野里定良さんの公述を終わります。

ありがとうございました。

以上で9名の皆様方の公述は終わりました。

皆様からの貴重な御意見につきましては、協議の参考とさせていただきます。本日はありがとうございました。

暫時休憩いたします。

午後2時52分休憩

---

午後2時54分開議

○委員長（西垣一郎君） 再開いたします。

以上をもちまして議会運営委員会公聴会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午後2時54分閉会